

令和7年 第10回

宮崎市教育委員会(定例会)

会 議 録

公 開 部 分

令和7年 第10回宮崎市教育委員会定例会 会議録

1 日 時 令和7年10月21日(火) 13:40～15:00

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

黒木教育長、松尾代表教育委員、片山教育委員、小林教育委員、高峰教育委員

【事務局】

森屋教育局長

(企画総務課)河野課長、田中補佐、黒木補佐、野邊補佐、甲斐主査

(学校教育課)小川課長

(文化財課) 原田課長

4 報 告

番 号	件 名	説 明 者
報告第30号	令和7年第5回宮崎市議会臨時会(10月)について	教育局長
報告第31号	第2回生目台東小学校・生目台中学校小中一貫校準備委員会について	企画総務課長
報告第32号	第1回宮崎市部活動地域展開協議会について	学校教育課長
報告第33号	令和7年度(臨時)第4回いじめ防止対策委員会について	学校教育課長

黒木教育長	<p>定刻になりましたので、ただいまから第10回教育委員会定例会を開会します。本日の傍聴者はいません。</p> <p>会次第「2 会議録署名人の指名について」です。本日の会議録の署名人は私と松尾代表教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
教育委員	異議なし
黒木教育長	<p>次に、会次第「3 行事報告等」に入ります。</p> <p>「(1)教育長報告」ですが、10月15日から17日にかけて開催されました九州都市教育長協議会理事会定期総会並びに研究大会についてです。</p> <p>今年は飯塚市で九州都市教育長協議会の総会並びに研究大会が開催されました。文部科学省から、「これからの教育課程と教員の成長を見据えて教育委員会にできること」と題した講演と、「教師を取り巻く環境整備について」行政説明がありました。</p> <p>特に行政説明については、主に働き方改革の国での審議状況等が報告をされています。中でも、市町村教育委員会に関係するところでは、教員の業務量管理だとか、健康確保に関する措置の実施計画を策定して、公表するというようなことが義務付けられる動きになってきているというような話がありました。</p> <p>本市では昨年度、働き方改革に関するプランを立てています。先日も時差出勤に関するマスコミの報道がありましたが、そうした取り組みを各教育委員会でやるようにといった話を文部科学省としても進めているといった説明でした。</p> <p>次に、「(2)教育委員報告」についてですが、10月14日にありました県教育委員との意見交換会について、お一人ずつご感想をお願いします。</p>
小林教育委員	<p>県の教育委員の方々との意見交換ということで、これまでも何度かそういう場を設けていただきましたが、宮崎市で抱えている課題と、県全体を俯瞰した課題を擦り合わせながら意見交換をするというような時間でした。3つの班に分かれて、それぞれのグループで焦点化した議論を展開して、その結果をKJ法的な形で可視化して発表するといった手法を取らせていただきました。とりわけ重点的に関わるべきことは何なのかということ、グループごとに意見交換することによって、私たちの認識も多面的になったような感じがしました。</p> <p>教育委員としてのこれからの立ち振る舞いであるとか、こうした場で意見を申し上げるといったことに対して、参考になる視点を得られたことは、非常に有意義だったと思います。</p> <p>大変貴重な意見交換会に参加させていただいて、ありがとうございました。</p>
松尾代表教育委員	<p>県の教育委員と市と町の教育委員との意見交換会は、昨年度もありました。他にも全国の研究協議会などにも出席した時には、全国の市町村の教育委員と協議する機会が何度かありました。教育委員として我々がどれだけ</p>

	<p>現状やこれからの教育について認識し理解しているかという点では、他の委員の方から、宮崎市は勉強会をしているということで非常に関心が高かったです。</p> <p>それぞれの市町の教育委員に対して、具申やコメントしたりするためには、私たち教育委員一人一人が、もちろん自分でも勉強することも大事ですし、このように意見交換する中で他の良い点を学んだり持ち帰って取り込むというといった方向性も見えてきたりするので、今後も続けていく機会があるといいなと感じたところです。</p>
片山教育委員	<p>私も去年と引き続き参加させていただいて、私はA班でしたが、教職員の確保について、国富町や綾町をはじめとした自治体の教育委員と色々お話をさせていただきました。事前に課題について調べてみたのですが、全国の教育学部を卒業する時に教職員になる学生の割合が、全国平均で69%という数字が出ていました。低いところでは48.6%、教育学部を出るのに先生になる人は50%にも満たない状況もあるようです。未来の学校づくりに向けた検討会を参観させていただいた時に、大学生の中からも保護者との対応だったり等でなかなか先生になりたくないという人がいるという話が出てきました。教職に就く前に悪い噂みたいな話が入ってきているということ、教員の確保の視点から議論をしていけば、何かしらヒントが出てくるのではないかと感じたところです。</p> <p>せっかく教育学部に先生になろうという気持ちを持って入られた人たちが、半分も先生にならないというのは、かなり課題だと考えた時に、宮崎市の第三次教育ビジョン、魅力的・感動的な学校をつくるのには、どうしたらいいのかと話し合いや議論をされてると思いますが、子ども達が今の大人を変えていくのは簡単なことではないと思います。ただ、子ども達がこんな大人や先生になりたいと感じる場、つまり本当に感動的な学校を今まさしく実現していこうとされているところに、今後本当に何か変わっていくのではないかという期待と、参加していた大学生についても、提言は今しかないから、本当に何か変えたいという熱い思いとを、短い参観時間ではありましたが感じたところです。</p> <p>多様性やインクルーシブな教室を作っていくという点において、日本は遅れていると言われてる中で、大人自身がやはり社会に出て多様性を認め合っていない、競争社会だといった意見も意見交換会の中で出てきました。子ども達を育てている先生が楽しい学校を作っていく、先生がやりたいことをやってもいいという保障ようなものも併せて作っていく必要があると感じたところです。</p> <p>貴重な意見交換会に参加でき、本当にいつも学びを得て、私も成長できていると思うのですが、1つ残念なことは、市町村教育委員と県教育委員の意見交換会なのですが、市町村教育委員会の委員だけが話してる状況でした。県の教育委員は司会や記録ををされるだけで、発言がありませんでした。できれば県の教育委員の方も他方面から色んな地域のことを見られていると思うので、県教育委員の方のご意見や思いを聞ける機会があると私たち</p>

	にとっても学びになるので、そうあるとよかったなと感じました。
高峰教育委員	<p>私はC班で松尾代表と同じ班でした。やはり宮崎市の取組で興味を持たれたのは、松尾代表がおっしゃっていただいたように、勉強会の実施です。私たちの班には県と綾町の委員がいましたが、非常に興味深く聞いてくださり、具体的にどういった内容ですかといったことを熱心に質問されました。</p> <p>後半のディスカッションでは、不登校について話し合いました。A～Dの層で不登校の状況を分けるもので、Aは学校に行けるけど教室には行けない、Bは家から出られるけれど学校には行けない、Cは家から出られないけど連絡はつく、Dは家から出られないし家庭へも連絡はつかない、というものです。</p> <p>それを、じゃ4つの層に向けて、具体的にどういったアプローチができるのか。で、Aは学校がケアするところですが、CやDになると福祉・行政が介入するべきところだということを、ずっとディスカッションして深掘りしていったことで、非常に理解が進み勉強になりました。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>県教育委員の発言がないという点は、事務局から県教育委員会に伝えておきます。</p>
小林教育委員	<p>ちなみに私たちの班は、発言されていまして、班によって異なったのかもかもしれません。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは続いて(3)教育局長報告については後ほど説明を行います。次に(4)の各課行事報告について事務局から説明をお願いします。</p>
河野企画総務課長	<p>10月10日、臨時校長会を開催しました。今回の臨時校長会では、本市教育CIOを務めていただいています神野元基氏を講師にお招きして、講演をいただきました。神野CIOは、中央教育審議会の委員でもあり、佐賀県の学校法人東明館学園の理事長兼校長を務めていらっしゃいます。今年の1月には、東明館への視察にも行っていただいたので、学校についてはご理解いただいていると思います。</p> <p>今回テーマは、子ども達が決めるという学校経営方針への転換として、東明館中学校高等学校での学校改革の実践を踏まえてお話をいただいたところです。東明館での生徒主体の学校づくり、これを進める中で、色々と教職員間の合意形成や、ルールメイキングプロジェクトにおける生徒とのやり取り等、具体のエピソードを交えながら語っていただきました。</p> <p>宮崎市におきましても、教育観の転換ということで、教師の教えやすさから子どもの学びやすさへ、子どもが自ら選択決定する場を増やそうとしているという状況の中で、校長先生方や事務局の私にとっても大変参考になる話を聞けたと思っています。また午後には、生目台中学校で、小中合同の研修</p>

	<p>会を行いました、そちらにも参加いただきまして、色々とお話を伺ったところでは、</p> <p>それから、10月19日は第2回未来の学校づくりに向けた検討会を開催しました。こちらには、日曜日に関わらず、委員皆様にもご参加いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>中学生、大学生、そして教職員等それぞれ部会に分かれて、未来の学校について考えていただいたところです。それぞれが考える魅力的、感動的な学校づくりに向けて、何をどう変えるかといったことで、意見を出し合っていました。キーワードをいくつかご紹介しようかと思いましたが、11月5日に第3回検討会でご提言をいただくという予定ですので、今日は控えたいと思います。11月5日は、14時15分から清武文化会館にて開催しますので、委員の皆様へもご案内させていただきます。</p> <p>いただいた提言は、事務局において、実現に向けての事業化、予算化、そういった検討をしていきたいと考えています。</p> <p>また、同日はグローバルチャレンジ支援事業、こちらの派遣生の全体発表会を予定しています。</p>
小川学校教育課長	<p>ひなた中学校夜間部、令和7年度10月入学者の入学式を10月15日水曜日にひなた中学校の教室で実施しました。</p> <p>当日は、今回入学の2名の生徒が出席し、在校生が見守る中、和やかな雰囲気です。式が実施されました。今回の10月入学で、1年生7名、2年生16名、3年生1名、計24名の在籍となりました。</p> <p>続きまして、小学校運動会、中学校体育大会については、5月に小学校3校、中学校21校、9月に中学校4校が実施されました。10月は10月19日日曜日、25日土曜日、26日日曜日に小学校42校で実施され、11月16日日曜日に残りの1校が実施される予定です。それをもちまして、全ての小中学校運動会、中学校体育大会が終了します。</p> <p>19日に行われました運動会は、秋晴れの中、発達段階に応じた内容で実施され、児童が一生懸命競争したり、演技したりして充実した活動となりました。児童の一生懸命頑張る姿に、保護者や地域の方々からは、元気や感動をたくさんもらったと言っていただけの運動会でした。</p> <p>26日は松尾代表委員、小林委員にもご出席いただく予定となっています。</p>
黒木教育長	<p>両課から報告がありましたが、特に委員の皆様方には、未来の学校づくりに向けた検討会に日曜日、長い時間お付き合いいただきました。</p> <p>何か様子を見られて、参加されて感じられたことがあればお願いします。</p>
高峰教育委員	<p>1番印象に残っているのは、実は教育長の説明にあった風越学園の現状です。主体性を尊重するということと、できない・したくないことも尊重するということの難しさがあるという現場の声を聞いて、やはり現実的な意見で参考になりました。</p> <p>まだ設立されてから数年だと思いますが、運営の方も試行錯誤されながらという状況の貴重なお話だったと思います。</p>

片山教育委員	<p>高峰委員がさっきおっしゃっていた、したくないことも尊重するという点で、私の3番目の子どもが通う小学校では、今年から宿題を何にするかは自分で決めていくということになっていて、したくないことも尊重するというところは親としてはなかなか厳しいなと感じる部分もあります。前回の定例会でもお話しさせていただいたのですが、その辺は学校の先生も、なかなか葛藤の中だと思います。やはり、やらなければならないこともあるし、そうしたことをやり遂げさせる力をつける、やった先に喜びがあるというようなことも学びだと思えます。人間は、喜怒哀楽がある生き物なので、努力したり苦しいことや楽しいことがあって喜びに繋がるっていうところも考えた時に、やりたくないことはやらなくていいだけではいけないのかなという部分で、やりながら出てくる課題だったりとか、その都度私も親として、また教育に携わらせていただいている中で、日々学びになっていると思っています。</p>
松尾代表教育委員	<p>3部会とも、それぞれの立場に立って、本当に真摯に一生懸命考えて発言をしているというのが印象的でした。</p> <p>中学生部会は、授業、教育を受ける側として、大学生部会は、大学で学んだ知識と教育実習で知ったことを通して、自分達はどうしたらいいのかという考えがある。それから、教職員部会は実際に職業として、現場の状況を踏まえた形での提案が出てくるだろうと思います。</p> <p>それぞれの立場で知っているもの、分からないけれどやってみたいということ、一生懸命考えてくれたのが非常に印象的だったので、次の発表会が楽しみだと思っています。</p>
小林教育委員	<p>私は大学に勤務する立場にありますので、大学生がどんな意見を出してくれるか期待をしていたのですが、かなり遠慮していたようなコメントがたくさん聞かれました。</p> <p>中学生も学校の先生方も、現場で今まさに直面している課題に向かうという点では、リアルな議論がなされていたと思いますが、学生たちは理想としている教育像のようなものを追求している立場でもあり、これからほとんど全員が教員に採用されていく形になるため、期待に胸を膨らませているという状態で、なかなか課題に対してどう乗り越えるかという点では葛藤があって、遠慮がちなコメントだったかなと思いました。</p> <p>今後それぞれの部会の意見がプレゼンテーションされると思いますが、学生たちも、自分達の立場を超えた様々な意見が聞けるという点では、今度の11月の提言発表の場が非常に楽しみだなという思いがあります。</p> <p>本学においては、110名ぐらいが就職決定していますが、昨年度は90名が教職員になったという、かなり高い教員採用率もありますので、そういった点で彼らのリーダーシップを発揮している様子というのも他の学生達にも還元できないかと思いつながり見ていました。</p> <p>また、今、選択・決定する学びということを色々なところでディスカッションされています。今月発表されたOECD国際教員指導環境調査(TALIS)2024、その中に、課題を解く手順を見習って児童生徒が選んで解決していくという授業を</p>

	<p>先生方がどれだけさせていますかといった趣旨の問いがあります。これは2018年の結果と比べると、小学校も中学校もかなりスコアが伸びています。ただ、諸外国と比べると、日本はまだまだ達していないというようなことが話題になっていました。特に中学校は諸外国と比べると低いとのこと。小学校はかなり高いのですが。こうしたことも、宮崎市が教育施策として取り組んでおられる教育ビジョンの基本目標1の中にも出ている、選択決定する学びが、今後の様々な議論の中でも焦点が当たるところなのではないかなと感じたところで、今回の議論の中でも参考にできる部分かなと思いました。</p>
黒木教育長	<p>私から学校教育課に質問ですが、ひなた中学校の夜間部に2名入学ということですが、具体的に年代等が分かれば教えてください。</p>
小川学校教育課長	<p>20代の女性が1名、40代の男性が1名、計2名の入学です。</p>
黒木教育長	<p>ひなた中学校夜間部も着々と成果を上げつつあるというか、皆さん非常に学ぶ喜びを感じていらっしゃる状況が続いていますので、また機会があれば、参観するようなことも考えていきたいと思います。</p> <p>他によろしいですか。それでは4の議事に入ります。</p> <p>本日議案はありません。報告が4件です。</p> <p>まず報告第30号「令和7年第5回宮崎市議会臨時会について」事務局から説明をお願いします。</p>
森屋教育局長	<p>10月7日に行われました宮崎市議会の臨時会についてです。</p> <p>9月から決算審査というものが行われており、10月1日に所管する委員会において、教育委員会の事務局7課の事情聴取も行われたところ。合計で約3時間半ほど説明と質疑応答があり、決算審査委員会としての意見が出されました。教育委員会分を含めて宮崎市全体の令和6年の決算は認定はされていますが、認定にあたっての意見ということで教育委員会に対して7件出ています。</p> <p>まず1つ目が、企画総務課の「市制100周年グローバルチャレンジ支援事業」についての意見ということでして、このグローバルチャレンジ支援事業に応募したがいけなかった生徒や市からの助成を受けずに個人留学を選択した生徒がいることに鑑み、今回の事業の費用対効果を十分に検証し、派遣先の見直しや安価なプログラムの導入など、より多くの児童生徒が参加可能な事業の在り方について検討されたいといった意見が出たところです。</p> <p>次に、学校教育課の「特別支援教育支援員の配置事業」について、令和6年度の配置人数が当初の11名の雇用の予定に対して9名に留まったところを踏まえ、当局においては外国籍の児童生徒は今後も増加することが見込まれるため、事業の周知も含め、人材確保のための対策を検討されたいといった意見が出されました。</p> <p>次に、教育情報研修センターの「学校ICT環境整備促進事業」です。児童生徒の1人1台端末が故障した時の対応について、故障した端末を修理している間、代替の端末により対応したということであったが、一部修理が集中し</p>

	<p>た際に、代替端末が用意できなかった事例もあったというところを踏まえて、当局においては端末の故障・修理があっても、児童生徒が切れ目なく端末を利用でき、学習できる環境を整えられるよう検討されたいと意見が出されました。</p> <p>次に、企画総務課の「小学校水泳授業民間プール活用モデル事業」については、学校プール施設の維持管理費は1校あたり年間約400万円に対して、民間のスイミングスクールを活用した場合の費用が、モデル校3校の平均で1校あたり年間約200万円ということで、十分な費用対効果が見られる。あと、温暖化が進む中で、子供たちが屋内のプールで、気温が高い場合にもできる。そうしたことから、肯定的な意見でした。当局においては、学校プール施設と民間のスイミングスクールを活用した場合の安全性や移動時間等を比較検討し、実際に民間のスイミングスクールに受皿があるか等の課題も検討した上で、次年度以降も民間のスイミングスクールの活用に向けて検討されたいといった意見です。</p> <p>次に、学校施設課の「小学校校舎断熱化モデル事業」ということで、令和6年度から東大宮小学校をモデル校としまして、温暖化対策、省エネ対策としまして、教室の天井や窓、内壁の断熱改修工事、これをちよつといろんなパターンを組み合わせ、比較検討を行っています。これについて、当局においては、本事業の成果を具体的な数値で示すなど指標化するとともに費用対効果を分析した上で、今後の他校への展開についても検討されたいといった意見があります。</p> <p>それから保健給食課の「子どものメディアリテラシー育成事業」です。昨年度、小学校で35回、中学校で6回の開催に留まったとのことで、一方で小中学生のスマートフォン所有率、特に中学生ではいずれの学年も7割を超えている状況があり、多くの生徒がスマートフォンを使用していることを確認されている。これを踏まえ、当局においては、本事業の実施が低調だった原因を分析し、特にスマートフォン使用率が高い中学校において、メディアリテラシーの教育を促進するための方策について検討されたい。このような意見が出ています。</p> <p>最後に、こちらも保健給食課ですが「学校給食の単独調理場空調設備リース事業」ということで、ここに記載のとおり、現在の支払いは、購入して設置という形ではなくリース契約となっています。リース契約は、市の財政状況が厳しい中で、単年度の支払い額を抑えられるというメリットがあるわけですが、一方で分割になりますので、その分費用もかかるということになります。これについて、議会側から、当局においてはリース契約と工事による設置の双方について、財政負担を比較した上で、次年度以降の空調設備設置の手法を検討されたいといった意見をいただいたところです。</p> <p>これらの意見については、今後の事業展開の参考にしてしていきたいと考えています。</p>
黒木教育長	ただいま説明のありました報告について、質問等ありませんか。

<p>小林教育委員</p>	<p>日本語指導が必要な児童に対する対応ということで、実際は9名に留まったとのことでしたが、全く日本語ができずに困難を抱えている児童もいたりすると思うのですが、通級のような形なのか具体的にどのような形態で指導なさってるのかを聞かせてください。外国籍の方々も増え、特に英語ではなくポルトガル語やスペイン語だったり、指導員を見つけようとしても人材がいいるのではないかと思ってお尋ねします。</p> <p>もう一つICT環境については、今後はChromeBookになるので、iPadとは違い修理が発生した場合も、どの端末でもアカウントさえ一致すればいいというような認識ですが、iPadの場合は、端末に紐づいた情報があるためになかなか代替え機が渡せなかったという認識で間違いないでしょうか。</p>
<p>小川学校教育課長</p>	<p>まず日本語指導に関しては、委員が言われたように、多言語に渡る状況等がありまして、各学校にその子の言語を話せる指導員がいないような状況等もあります。</p> <p>また、県から配置されます拠点校、今、学園木花台小学校と西池小学校には拠点校として教員が入っていますが、その指導教員に他学校にも指導しにいったらという体制作りはしてるところです。</p> <p>ただし、非常に流入が多くなっている状況等もありますから、また今後検討していかなければならない課題だと思っているところです。</p>
<p>森屋教育局長</p>	<p>学校のICTの件につきましては、担当課であります教育情報研修センターの方に今確認をしていますので、後ほど回答します。</p>
<p>松尾代表教育委員</p>	<p>小学校校舎断熱化モデル事業ですが、なかなか空調も効かない厳しい暑さですが、検証という形では、具体的な数値で指標化するということがあげられ、何かしら検証されたのではないかと思うのですが、それについてはいかがでしょうか。</p> <p>また、子どものメディアリテラシー育成事業の中学校の利用が少ないという点について、6回とありますが、実際この事業を使ってないだけであって、メディアリテラシーに関しては他のことでやってるということも考えられるのではないかと思います、その辺りをお聞かせください。</p>
<p>森屋教育局長</p>	<p>まず1つ目の、小学校校舎断熱化については、東大宮小学校で、天井、ガラス、壁で実施しています。中に断熱材を入れたり、ガラスをダブル、ペアガラスといった色々なことを組み合わせて実施し、結果として効果があったのが天井断熱というところは、数値的な計測を継続して確認した中で把握したことです。</p> <p>ただ、確かに温度は下がっているのですが、断熱化にかかった費用に対して効果が見合っているのかというところが、事業化に向けてとなった時に学校施設課の方でもまだ決断できない状況のため、今年度も引き続き調査を行っています。</p> <p>学校施設課の現段階の印象としては、各学校で今後屋上の防水工事をやらなければならない時期が来ます。屋上が傷んできて防水工事をする際に、</p>

	<p>天井への断熱塗装というものもあるようなので、それを組み合わせると、それほどコストをかけずに一定の効果が得られるのではないかとということもあり、その点を分析をしているところです。なんとか来年度の事業の中で、1つでも取り組めればと考えています。</p> <p>また、保健給食課のメディアリテラシーについては、中学校の現状を確認した後ほど、お答えします。</p>
小川学校教育課長	<p>メディアリテラシーに関しましては、学校教育課でも似たような事業等をしており、県のメディア指導員を活用しまして、小学4年生、全ての学校で、携帯やタブレット、実際SNSに触れるだろう小学4年生を対象に全て実施をしているような状況です。</p> <p>そういう中で、早めに、早い段階で、適切なそういうメディアリテラシーの教育を進めていくような取組はしているところです。</p>
黒木教育長	<p>他にないようでしたら、報告第31号「第2回生目台東小学校・生目台中学校小中一貫校準備委員会について」、事務局から説明をお願いします。</p>
河野企画総務課長	<p>報告第31号の第2回生目台東小学校・生目台中学校小中一貫校準備委員会についての報告です。</p> <p>9月10日に第2回の準備委員会が開催されました。ここでの議題の1つ目は学校の名称についてです。これについては、9月10日の準備委員会の後に、市議会での議決、それから前回定例教育委員会での通称名の決定など、今後もこの準備委員会だよりで、紹介をさせていただくようにしています。</p> <p>もう一つ、小中一貫校については、小学校と中学校のそれぞれの教員が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育過程を編成し、系統的な教育を行う学校といった制度的な説明をした上で、学校からは、現在の小中一貫校に向けた取り組み、小学校と中学校でいろいろ検討されている行事や教育過程、そしてどのような特色を持つ学校にするかといった検討を現在行っていると報告がなされました。</p>
黒木教育長	<p>ただいま説明のありました、報告第31号について、質問等はありませんか。</p>
教育委員	<p>なし</p>
黒木教育長	<p>ないようでしたら、次に報告第32号「第1回 宮崎市 部活動地域展開協議会について」、事務局から説明をお願いします。</p>
小川学校教育課長	<p>宮崎市部活動地域展開協議会報告書について報告します。</p> <p>まず、本協議会は本市の部活動地域展開を円滑に進め、子ども達にとって、より良い地域クラブ活動を実現するため、関係団体の皆様から貴重なご意見を伺い、今後の方向性を定めることを目的として開催しました。</p> <p>子ども達に不利益にならず、混乱がないように令和8年秋の中体連大会終了後の部活動から順次移行していく計画となっています。</p>

	<p>吹奏楽やバスケットボールなど、学校単位での大会参加が必要な一部競技については、現在、各競技団体と協議を進めており、最善の方法を模索しているところです。</p> <p>特に地域クラブの指導者の人数に関しましては、集まった子どもの数に応じて柔軟に対応する予定としています。最低でも活動エリアの数×活動数×2名の確保を目標とし、来年度4月、遅くとも夏までには指導者の確保ができるよう努めていきます。</p> <p>特に指導者の質の担保が重要であるとの意見も踏まえ、教員の経験者や地域指導者の専門性を活かせる選考方法を検討していきます。</p> <p>この地域クラブに関しましては、子供たちのニーズに応じ、上位大会を目指すコースと楽しむことを目的としたコースの両方を設置していきたいと考えています。</p> <p>また、全7エリアに9つの活動を開設することで、どの学校に通っても、希望する活動に参加できる機会を保障することを目指します。</p> <p>また、吹奏楽部に関しましては、楽器運搬、練習会場、高額な楽器の購入維持費など、吹奏楽部特有の大きな課題があることを認識しており、学校備品の利用や修理代などにつきましては、今後吹奏楽連盟と協議を重ね、課題解決に向けて前向きに検討していきます。</p> <p>また、部費に相当します、市が徴収します、みや活の会費等に関しましては、主に年会費と登録や保険料等の月会費、主導者への謝金などを想定しています。道具代や大会参加費につきましては、現在の部活動が後援会費のように、別途任意団体が費用を集める形も考えているところです。</p> <p>運営体制につきましては、人材確保、広報、移動手段など課題に対し、人材バンクの活用や多様な媒体での広報活動、公共交通機関との連携など模索しているところです。</p> <p>宮崎市が総括運営主体として課題を受け止め、学校地域、関係機関といった適切な主体に役割を振り分け、地域全体で子供たちを育て見守る体制を目指しているということです。</p> <p>最後に本協議会をとおして、各関係団体から見た課題を共有し、今後の方向性について、共通認識を持ちました。またUMKニュースやYahoo!ニュース、宮日新聞など、多くのメディアで取り上げていただき、広報面でも大きな成果があったところです。今後の取り組みとしましては、各競技団体や関係団体と協議を行い、種目に応じた活動の形を作り上げていきます。</p> <p>また、指導者やクラブ活動、クラブを確保するためのガイドラインや認定クラブの設置要件を定め、小学校、中学校、競技団体、少年団、総合型地域スポーツクラブでの説明会、市民向けの広報活動を積極的に行っていきます。</p> <p>引き続き、子供たちが安全安心に部活動に取り組める環境を整備するため、皆様のご理解とご協力を承りたいと思っています。</p>
黒木教育長	ただいま説明のありました、報告第32号について、質問等はありませんか。

松尾代表教育委員	<p>現実化していくにあたって、様々なことを想定されていますが、想定外のようなことも出てきてるのではないかと思います。</p> <p>今後、この地域展開協議会を中心に進めていかれると思いますが、最終的に学校への説明も必要になってくると思いますが、今後この地域展開協議会は、今年度はあと何回開催されますか。また、その後、周知していくという点では、保護者も関心が高いでしょうから、地域や学校もですが、どのような形で説明されますか。</p>
小川学校教育課長	<p>地域展開協議会は、当初年2回を予定していましたが、今回課題もたくさんいただいたところですので、その課題を踏まえまして、年3回実施する予定としています。1月と3月にもう1回ずつ開き、課題を整理し、啓発も含めて市民や学校、また子ども達に、新しい地域クラブの形について示していければと考えています。</p>
松尾代表教育委員	<p>なかなか具体像がなかなか描けないでいる学校や指導者もあり、校長先生方もその声に回答しきれない部分もあったりする状況のようなので、やはりより具体的な周知が必要だろうなというのを感じました。</p>
黒木教育長	<p>他にないようでしたら、議事の進行上、報告第33号「令和7年度(臨時)第4回いじめ防止対策委員会について」は、後ほど事務局から説明をお願いします。</p> <p>先に、資料14ページ、「5 その他の報告」(1)「生目古墳群 de ピクニック」について、事務局から説明をお願いします。</p>
原田文化財課長	<p>国指定史跡「生目古墳群 de ピクニック」でのイベントについてのお知らせです。</p> <p>11月15日の土曜日、概ね10時から15時ぐらいを目処に、生目古墳群史跡公園におきまして、生目古墳群 de ピクニック2025を開催します。</p> <p>発掘の模擬体験や、土器のかけらを組み立ててテーブルなどでつけて完成させる土器パズルのほか、古代にちなんだコーナーや出張ふれあい動物園、大きなシャボン玉を作ろうなどの様々な企画で、史跡公園全体でまんべんなく10ほどのイベント箇所を作って楽しんでいただくという形にしています。</p> <p>また、生目の杜遊古館の体験学習館では、宮崎県内の小学生を対象に「みやざき歴史キッズ2025」を開催したいと思っています。この歴史クイズ大会では、教科書に載っている歴史に加え、宮崎の日本遺産の後世文化財でもあります生目古墳群に関する問題も出題をしたいと考えています。</p> <p>この大会は子ども達が宮崎の歴史を学び、故郷に誇りを持つ機会となるように、丁寧に準備をしたいと考えています。</p>
黒木教育長	<p>ただいまの説明について、質問等はありませんか。</p>
高峰教育委員	<p>ちょっと本件ではなく話がそれてしまっていますが、今年度開催されたヒストミアに参加しました。</p>

	<p>市民の方に向けて宮崎の歴史を語るということで、宮崎の参勤交代というタイトルでしたが、1回目はもうほぼ座りきれない位の人数、定員30人に対して60人弱位お見えになったと思います。</p> <p>全国でも多分一番参勤交代が遠かったんじゃないかなんかと言われる宮崎から、どういうルートで、どうやって行って、いくらお金がかかったのかという、非常に興味深いことで、年代も30代から上の方様々なんですけど、やはりこう私達市民の中での郷土史への興味関心っていうのは、非常に勉強になり、すごく良い講座だったと思います。</p>
原田文化財課長	<p>ヒストミアは、前後編2編ずつで8の講座で、今2回目が終わり、11月1日に3回目の前編ということで、1回目が、西南戦争に関するが前編後編で2回と、先日が参勤交代ということで、前編後編の2回となります。今度は、教科書に出てくる安井息軒関係ということで、安井息軒に関わる塾生であったり、そこに関する方で実際教科書に出てくるような名前が知られているような人物について語ってみようということで2回ほど実施します。もともと、先生方が、授業とかに使っていただく材料にならないだろうかということで始めましたが、なかなか先生方も非常にお忙しく講座自体を見ていただくことも難しいという状況がありましたので、歴史に興味のある方々に見ていただけるようにと実施しているものです。対面で来ていただく方については、どうしても制限があり人数が限られますので、アーカイブとしてオンラインでも見ていただけるよう、現在担当者等一生懸命取り組んでいますので、是非また興味を持って見ていただければと思います。</p>
黒木教育長	出張ふれあい動物園ですが、あそこに動物を入れても大丈夫ですか。
原田文化財課長	<p>そこは場所は限りますけれども、一応フェニックス動物園やJRA宮崎育成牧場のご協力のもと、安全面も含めて管理しながら、実施しています。</p> <p>もともと、古墳に登れる、上がれる、走り回れるという場所というのが生目古墳史跡公園ですので、十分に使っていただければと考えています。</p>
黒木教育長	<p>他に質問等はありませんか。</p> <p>ないようでしたら、会次第「6 次回教育委員会について」と、「7 行事予定」について、一括して事務局から説明をお願いします。</p>
河野企画総務課長	スケジュールの前にすいません、先程ご質問いただいた何点か回答できなかった分について、回答してもよろしいでしょうか。
田中企画総務課長 補佐	<p>先ほど小林委員からお尋ねいただきました、教育情報研修センターの事業ですが、物が壊れた時に切れ目なく子ども達を使うことができるかというご質問でした。</p> <p>現在は、タブレットで児童生徒の情報の管理をしていますが、Googleに移行するというので、Googleのアカウントの中でしっかり管理するという仕組みに変えました。Googleのアカウントで管理するという事はハードの</p>

	<p>chromebookが壊れても、すぐ代替機を準備して、同じGoogleアカウントから入って使えるということで、切れ目なく使えるように対応します。</p>
小林教育委員	<p>宮崎市の取組として、セルラーモデルとかを入れて、自宅でもWi-Fiが無い家庭でも使えるような設計にしたりとか、あとGoogle認定パートナーというところの連携、そちらに委託してより強固なセキュリティも担保されるという話を聞いていますので、いろんな面でもトラブル対応や、事前の準備を相当用意周到にされて、次のGIGAスクールに入られるんだなと感じながら聞かせていただいています。調べていただいて、ありがとうございました。</p>
河野企画総務課長	<p>メディアリテラシーに関して松尾代表からいただいた質問についてですが、中学校が特に少なかったわけですがけれども、この事業活用以外に、何か学校がどんな取組をしているかというところまでの把握は、今はできてないところですが。昨年度までの、実践・実施状況も踏まえて、またこの事業の効果を高めるということで、今年度からは小学校については特に、先ほど学校教育課が4年生を対象にということもありましたが、小学校3年生に照準を絞って、特に小学校において、このメディアリテラシー事業を、展開するという事です。</p> <p>また中学校にあっては、引き続き希望を聞いて、実施するという形で今年度は予定しているということでしたので、ご報告します。</p> <p>それでは、スケジュールについてです。</p> <p>まず、10月24日、宮崎県市町村教育委員会連合会の行事で、県の教育委員会、事務局の幹部の方々との意見交換があります。松尾代表ご出席をよろしくお願いします。</p> <p>10月25日、JA共済の書道コンクールの表彰式がありますので、松尾代表の出席をよろしくお願いします。</p> <p>10月27日、今年度の総合教育会議を予定していますので、皆様、ご出席をよろしくお願いします。</p> <p>11月5日は、先ほどありましたグローバルチャレンジ支援事業の報告会と未来の学校づくりに向けた検討会、提言をいただく場ということで、清武文化会館にて、開催予定としています。ご参加をよろしくお願いします。</p> <p>11月6日、7日にかけて、教育長が宮崎県都市教育長協議会ということで、都城市へ出張です。</p> <p>11月11日が、次回の定例教育委員会になります。</p> <p>11月13日から14日にかけて、教育長は、全国都市教育長協議会、それから全日本教育工学研究協議会のため、東京都つくば市の方に出張予定です。</p> <p>12月1日から12月の定例市議会が開催予定となっています。</p> <p>最後に、12月23日が12月の定例教育委員会の予定です。</p>
黒木教育長	<p>ただいまの説明について、質問等ありませんか</p> <p>他にないようでしたら、報告第33号「令和7年度(臨時)第4回いじめ防止対策委員会について」、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14</p>

	条第7項により、非公開としたいと思いますがいかがでしょうか。
教育委員	異議なし
黒木教育長	それでは、ただいまより非公開とします。
黒木教育長	以上で非公開は解除します。 それでは、これを持ちまして第10回教育委員会定例会を終了します。